

知と
継続は
力!

百聞は
一見に
如かず

2022年5月～12月

“エネルギー政策の転換と飛躍を旨として” 自然エネルギー連続講座

国の「第6次エネルギー基本計画」は、「原発への依存度を減らす」「再エネを主要電源にする」と言いながら、相変わらず原発を推進し、石炭火発を温存する計画になっています。ヨーロッパでは、“気候変動対策として原発は有効”といった議論が出始めています。

私たちは、原発はいったん事故を起こせば人と環境に長期の被害をもたらす“最大の公害”になること、放射性廃棄物の問題が解決されないことなどから、廃止してゼロにすべきものと考えています。また、石炭火発も大量にCO₂を排出するもので、地球温

暖化・気候変動対策の視点から早期に廃止すべきものと考えています。

そんな情勢のもと、エネルギー政策のあり方から自然エネルギーをめぐる世界と日本の情勢、私たちに求められていることや展望、そして、“自然エネルギーを飛躍させる”“無駄にエネルギーを使わない”などの取り組みと経験を学ぶために、今年も自然エネルギー連続講座を開催し、視察・見学会、シンポジウムを企画しました。

ぜひ多くの方がご参加くださいますようお願いいたします。

2022年度の講師のみなさんと視察・見学会、シンポジウム



5月25日(水)

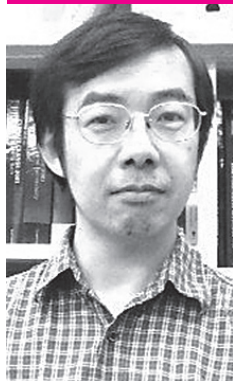
和田 武さん

(和歌山大学客員教授)

歌川 学さん

(産業技術総合研究所)

6月22日(水)



9月28日(水)

豊田 陽介さん

(NPO気候ネットワーク)

鈴木 靖文さん

(ひのでやエコライフ研究所)

11月16日(水)



視 察
見 学 会

10月27日(木)
～28日(金)

- 飯田市やおひさま進歩、飯田まちづくり電気の視察と懇談
- 飯田地方での太陽光・小水力、木質バイオの取り組みの現地見学

シ ン ポ
ジ ユ ム

12月10日(土)

- 各自治体の自然エネ・再エネの取り組みの現状と課題
- シンポジウム「自然エネ・再エネ100%の大阪を旨として」

原発をなくし、自然エネルギーを推進する大阪連絡会（原発ゼロの会・大阪）
協賛 日本科学者会議大阪支部 自然エネルギー市民の会 自然エネルギーねやがわ市民の会

自然エネルギー連続講座

第1講

5月25日(水) 午後6時30分～

Zoomおよび大阪民医連会議室

世界と日本の再生可能エネルギーの最新動向と今後の課題

COP26の合意と日本のエネルギー政策、国民の役割を踏まえて

講師 和田 武 さん (和歌山大学客員教授、自然エネルギー市民の会代表)

●**講演要旨** 世界の再エネが2020年に史上最大の伸びを示す中で、日本は停滞傾向に陥っています。グラスゴー合意に基づく1.5度未満を目指す世界の動きに対して、日本の第6次エネルギー基本計画や地球温暖化対策計画等の問題点と課題を明らかにします。また、国民(市民)が果たすべき重要な役割についても考えます。これからの数年間、日本の気候危機とエネルギー対策にとってきわめて重要な時期になることをお話します。

第2講

6月22日(水)

午後6時30分～

Zoomおよび
大阪民医連会議室

日本の脱炭素、CO₂の2030年半減、2050年排出ゼロ実現の方法

脱炭素は省エネ技術普及と再エネ転換が柱

講師 歌川 学 さん

(産業技術総合研究所主任研究員)

●**講演要旨** 気候危機回避のため、脱炭素転換、2030年までのCO₂排出量の大幅削減と、2050年またはそれ以前の排出ゼロへの移行が求められています。脱炭素対策の柱は省エネと再エネ普及で、今の優良技術・改良技術で大半の削減が技術的に可能。国・地域の省エネと再エネの対策、2050年までの全国と地域の脱炭素転換と政策について検討します。また、脱炭素対策を生活の質の向上、地域発展に役立てることを考えます。

第3講

9月28日(水)

午後6時30分～

Zoomおよび大阪民医連会議室

脱炭素地域づくりと太陽光発電

これからの太陽光発電普及の方向性と可能性

講師 豊田 陽介 さん

(NPO法人 気候ネットワーク上席研究員)

●**講演要旨** カーボンニュートラル実現のためには、国の政策強化とともに各地域での脱炭素化が求められます。脱炭素地域の実現のためには、再生可能エネルギーへの転換をはじめ地域の特徴にあった政策・対策の実施が必要となります。そこで本報告では地域での気候エネルギー政策について取り上げるとともに、特に地域での再エネ普及の中でも重要な太陽光発電に注目して今後の可能性やさまざまな普及方法について紹介します。

第4講

11月16日(水)

午後6時30分～

Zoomおよび
大阪民医連会議室

講師 鈴木 靖文 さん

(有限会社ひのでエコライフ
研究所代表取締役)

エネルギー政策と省エネ・エコライフ

省エネ・エコライフの役割と取り組みの事例

●**講演要旨** 省エネ・エコライフに関する市民意識は大きく変化しています。がまんするのではなく、むしろより豊かで健康な生活を作っていくという視点で、政策の整備も進められています。家庭生活においてどのような視点で取り組んだら、カーボンニュートラルを通じて持続可能な社会を構築できるのか考えます。

視察 見学会

10月27日(木)～
28日(金)

自然エネ推進条例やおひさまファンド などで有名な長野県飯田市の自然エ ネ・再エネの取り組みの視察と懇談

●飯田市の視察と懇談

- ・環境モデル都市いだの再エネの取り組み
- ・自然エネ推進条例の策定経過と内容および基本理念
- ・条例に基づく取り組み、など

●おひさま進歩・飯田まちづくり電力の視察と懇談

- ・おひさま進歩の自然エネ推進の取り組み
- ・自然エネルギー推進での市民運動と行政のかかわり
- ・新電力「飯田まちづくり電力」の取り組み

●現地見学

- ①おひさまファンドを中心にした太陽光発電
- ②農業用の用水路を生かした小水力発電
- ③間伐材等を利用しての木質バイオ

集合時間と場所

27日は午前8時に堺筋本町の大阪民医連前にお集まりいただき、貸切バスにて飯田市に向かいます。28日は午後6時ごろ同所に帰る予定です。募集人数は、マイクバスの定員の半分の14名とします(申し込み先着順)。なお、コロナの感染状況によっては中止もあり得ることを予めご了承ください(参加費は返金します)

コロナ対策

ワクチン2回接種済み、またはPCR検査「陰性」など、コロナ感染対策については別途お知らせします。

シンポ ジウム

自然エネ・再エネ100%の大阪を目指して、 シンポジスト・参加者で大いに意見交換します

12月10日(土)
13:30～16:30

大阪民医連会議室
およびZoom
(13:00 開場)

主な内容(予定)

- 報告「各自治体の取り組みの現状と課題」
-自治体アンケートの集計結果-

- シンポジウム「自然エネ100%の大阪を目指して」
 - *大阪の電力需要と自然エネ・再エネ100%を目指して
 - *大阪での自然エネ・再エネを飛躍させるために
 - *大阪経済の活性化と自然エネ・再エネ
 - *大阪府・市政のエネルギー施策の実態と問題点

- 資料代 500円

大阪民主医療機関連合会

大阪市中央区南本町2-1-8
創建本町ビル2階
☎06(6268)3970
Fax 06(6268)3977



連続講座・シンポジウムの会場周辺図

連続講座・シンポジウムの会場

大阪民主医療機関連合会
大阪市中央区南本町2-1-8
創建本町ビル2階

最寄りの駅

地下鉄堺筋線・中央線の「堺筋本町駅」で下車し、⑨番または⑭番出口から徒歩3分です。

お願い

新型コロナウイルス感染防止のために、連続講座およびシンポジウムについては、出来るだけZoomでのご参加をお願いします。会場ご参加の方は、本人の発熱、家族・職場で陽性者が出た場合は、出席をご遠慮ください。また、当日は、検温・手指消毒、マスク着用、咳エチケットをお願いします。

参加費・申し込み方法など

■連続講座

- 参加・資料代
1回 800円(学生:無料)
4回連続ご参加の方は2,800円
- 講演レジュメについて
Zoom参加者には事前にデータで講演レジュメをお送りします。紙ベースのレジュメをご希望の方は、郵送費の実費等として1回につき150円のご負担をお願いします。

■視察・見学

- 参加・資料代 800円

- 交通費と宿泊代(1泊2食) 21,500円。
27日・28日の昼食代は別途実費

■申し込み・振り込み方法

- 下記の申込書(または内容)にて、第1次分として5月15日までにメールかFAX、郵便などで事務局までお申し込み下さい。
- お申込みいただいた方には、事務局より請求書と郵便振替用紙をお送りします。郵便振替かゆうちょ銀行への振り込みでお願いします。

申し込み先

原発ゼロの会・大阪 事務局

〒540-0026 大阪府中央区内本町2丁目1番19号 内本町松屋ビル10 370号
大阪から公害をなくす会 気付

FAX 06-6949-8121 電話 06-6949-8120

メールアドレス energy-bukai@genpatsuzero-osaka.com

郵便振替口座・郵便貯金口座(口座名はどちらも「原発ゼロの会・大阪」です)
郵便振替 00900-8-201444 ゆうちょ銀行 記号14060 番号45436461

参加申し込み書 (必ず事前に予約をお願いします)

コピーして、FAX・メール・郵送などでお送りください。

お名前				電話	
ご住所					
メールアドレス (Zoomの方は必須)					
参加講座 参加形態 (いずれかに○印を)	第1講 (5月25日) 会場 Zoom	第2講 (6月22日) 会場 Zoom	第3講 (9月28日) 会場 Zoom	第4講 (11月16日) 会場 Zoom	
紙ベースのレジュメ (いずれかに○印を)	希望 不要	希望 不要	希望 不要	希望 不要	
視察・見学会 (参加の場合は○印を)	参加する		シンポジウム (参加の場合は○印を)	参加する	

講座だけ、視察・見学会だけ、シンポジウムだけ、あるいは飛び飛びの参加もOKです。
第1次分として2022年5月15日までに、原発ゼロの会・大阪の事務局までお申し込み下さい。